

海洋人材育成とフィリピン

1988年～

フィリピンは世界の船員の約3割を供給する海事大国です。笹川平和財団は、日本財団の助成を受け、スウェーデン・マルメ市に本部を置く世界海事大学（WMU）への奨学金支給を通じ、各国の海事行政を担う若手人材の育成を長年にわたって支援してきました。1988年以來、89カ国・843名以上の笹川フェローを輩出しており、その中にはフィリピン出身者80名が含まれています。海から生きるフィリピンの人々とともに、持続可能な海洋の未来を担う人材を育て続けています。



WMU 笹川フェローの声

2026年度 WMU 笹川フェロー：
フィリピン沿岸警備隊（PCG）
エラ・メイ・L・レスカーノ少佐



振り返ってみると、士官としての駆け出しの頃から中堅幹部になるまでの間、笹川フェローであった優秀で思いやりのある女性上級将校の方々、当時中佐だったファティマ・アレリ・アンヘルズ氏や准将

のメイ・B・マーフィル氏、に常に導き、支えていただけてきました。このように、海事分野で働く女性同士が互いに支え合い、高め合う文化の中にいられることを、私はとても幸運に感じています。そして、その精神は、笹川フェローシップを通じて私たちに根づいているのだと思います。私もこの思いを、次世代の笹川フェローへとつないでいければと願っています。

アジア政治リーダー対話（ASF）

2023年～

アジアの平和と安定には、各国の政治リーダー同士の信頼関係が欠かせません。笹川平和財団は、次世代を中心とした政治リーダー同士の相互理解の深化と人脈の構築を図ることを目的に2023年に「アジア政治リーダー対話（Asian Statespersons' Forum: ASF）」を立ち上げました。日本、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ、シンガポール等を中心に、将来のトップリーダーとなる中堅・若手の政治家同士の継続的な直接対話の場を創出しています。

公式外交では生まれにくい率直な意見交換と個人的な信頼関係の構築を通じ、日本を含むアジア地域社会の長期的な視点に立った平和と安定のため地域の安定に資する人的ネットワークを育てています。フィリピンからも政治リーダーが参加し、日比間の新たな対話の回路が生まれています。

国賓来日を契機に深まる日比関係

提供：在京フィリピン大使館

2026年5月26日から29日にかけて実現したフィリピンのフェルディナンド・R・マルコス・ジュニア大統領の国賓としての訪日は、本年、両国が外交関係正常化70周年を迎える中で、日比関係を一層深め、広げる重要な節目となりました。

滞在中、マルコス大統領は宮中での歓迎行事および宮中晩餐において、天皇皇后両陛下との親交を改めて確認しました。また、高市早苗内閣総理大臣との首脳会談では、日比関係を「包括的・戦略的パートナーシップ」へと格上げすることで一致し、エネルギー・食料安全保障、貿易・投資、新興技術、サプライチェーンの強靱化、人的交流など、幅広い分野における協力を一層推進し、「ブラチナ時代」へとつながる道筋が示されました。

さらに、マルコス大統領は日本財団および笹川平和財団の名譽会長である笹川陽平氏とも会談し、フィリピンにおける両国体の継続的な取組と、平和構築、開発、公衆衛生への貢献に対する認識が示されました。

2026年7月には、在京フィリピン大使館と笹川平和財団の共催により記念シンポジウムが開催され、政策担当者、学界、産業界、市民社会の関係者が集い、相互理解を深めるとともに、多様な分野での今後の協力の可能性を探る機会となりました。



©フィリピン大統領府広報室

©フィリピン政府観光省

フィリピンと
共に歩んだ
40年

公益財団法人笹川平和財団

〒105-8524 東京都港区虎ノ門1-15-16 笹川平和財団ビル

詳しくは笹川平和財団公式ホームページをご覧ください。

www.spf.org



笹川平和財団は、1986年の設立以来、フィリピンとの深い絆を育んできました。

活動の原点は、1980年代末に始まった農村開発NGOへの支援です。

サマール県やネグロス・オクシデンタル県など、貧困と格差が深刻な地域で活動するNGOに対し、農村開発・コミュニティ形成・保育教育などの分野で助成と技術指導を行いました。

また、経済的に困難な状況にある大学生への奨学金給付や、世界海事大学 (WVU) への笹川フェローの派遣を通じ、陸と海の両面から次世代を担う人材育成にも力を注いできました。その後、活動の幅は大きく広がりました。

フィリピン南部ミンダナオ島における平和構築支援、女性の経済的自立を後押しする起業家支援、日本で暮らすフィリピン人コミュニティへの寄り添い、そして気候変動が沿岸部の人々の暮らしに及ぼす影響の調査と政策提言まで、時代の変化とフィリピンの人々のニーズに応じながら、活動は進化を続けています。

草の根の支援から政策提言まで。

笹川平和財団はフィリピンの人々とともに、平和で公正な社会の実現を目指してきました。その歩みは、これからも続きます。

ミンダナオにおける平和構築支援

2013年～

フィリピン南部ミンダナオ島では、半世紀にわたる紛争が続いてきました。笹川平和財団は、2013年に開設したウェブサイト、アジア平和構築イニシアティブを通じ、和平プロセスの進展を記録・発信するとともに、紛争影響地域における対話と相互理解の促進に取り組んできました。

2022年より、女性・平和・安全保障 (WPS) アジェンダの推進に注力し、バンサモロ自治地域 (BARMM) におけるWPSの実態を調査した報告書を公刊。この報告書に基づいたフォローアップ事業として、元戦闘員とムスリム女性の社会復帰を支援する生活・経済支援事業や公立病院への女性・子供保護ユニット設立支援を行うとともに、近年は法整備支援の面からもフィリピンのWPSアジェンダ推進に向けた活動を続けています。2025年には、コミュニティ調停の実践的研究を実施し報告書を作成。地域社会の中で紛争を平和的に解決する仕組みづくりを継続して支援しています。



社会起業家支援と女性の経済的エンパワメント

2019年～

笹川平和財団は、フィリピンにおいて包摂的な社会的企業の育成と女性の経済的エンパワメントを、官民・市民社会との連携を通じて推進しています。

Bayan Family of Foundations 等と協働し、「National Social Enterprise Development Roadmap」の策定・実装を支援するとともに、ケソン市、オディオンガン、バンサモロ自治地域 (BARMM) の3地域において、社会的企業協議会の設立や条例・政策枠組みの整備を推進しました。特にBARMMでは、紛争影響地域を対象とした社会的企業開発ゾーン (SEDZ) 調査を実施し、生計向上と平和構築を両立する段階的アプローチを提示しています。

また、これまでに100名以上の女性起業家に対し、The Spark Project 等との連携による「SHEフェローシップ」や各種アクセラレーション・リーダーシッププログラムを通じて、研修・メンタリング・ネットワーク機会を提供し、女性が主体的に事業を創出・成長させる基盤づくりを支援しています。



気候変動・人の移動とフィリピン

2021年～

フィリピンは世界で最も気候変動の影響を受けやすい国の一つです。毎年のように台風が沿岸コミュニティを襲い、洪水や海面上昇が人々の生活基盤を脅かしています。

笹川平和財団の海洋政策研究所 (OPRI) は、2021年からフィリピン・ダバオ市において、気候変動・海洋リスクの複合的な脆弱性を評価する調査 (CORVI) を米・システムセンターらと共同で実施しました。加えて、2023年からフィリピンのレイテ州において2013年の超大型台風ハイエンによる被害と中長期的な復興状況に関する調査を行いました。この調査の結果は、気候変動による「損失と損害 (Loss and Damage)」への国際的な対応を特にフィリピン国内で議論する枠組みの中で注目されており、その理事會がフィリピン・マニラに置かれた損失と損害基金とも深く関わる文脈の中で、政策立案の前段階となるエビデンスとして共有されています。引き続き気候変動の影響により避難や移住を余儀なくされる人々のニーズ調査や受入コミュニティの課題の分析を深化させ、人道的な視点から政策提言を目指しています。



「架け橋」—日本で暮らすフィリピン人とともに

2020年～

日本には約30万人のフィリピン人が暮らしており、在日外国人コミュニティの中でも大きな存在です。笹川平和財団は、在日フィリピン人を支援する民間団体「架け橋」と2020年より協働し、日本で新たな生活を始める人々のためのハンドブック『架け橋〜日本で暮らす若者のためのガイド〜』を日本語・英語・タガログ語の三言語で制作しました。そして、フィリピンの政府機関である在外フィリピン人委員会 (Commission on Filipinos Overseas 以下CFO) が主催し、移民に関する啓蒙活動で貢献した団体や個人へ与えられるMigration Advocacy and Media Awards (2021年) のノンフィクション・ガイドブック部門で、最良の書に選出されました。

生活情報、文化の違い、日本語学習の手がかりなど、来日直後に必要な実用的な情報をまとめた本書は、現在専用URLリンクを通じてデジタル版が広く配布されています。当事者が当事者を支えるコミュニティ主導の支援モデルとして、多文化共生社会の実現に貢献しています。



forms.gle/eX1JBq6bEQJLs4H6